
時計の怪物

ハイキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

時計の怪物

【Nコード】

N0452S

【作者名】

ハイキ

【あらすじ】

かちこち、かちこち。これは、時計の男がいつか見る夢。

ある国のはずれに、人を喰う怪物がいました。

かちこち、かちこち。

怪物が現れる時、決まって齒車と秒針の音がするので、
国の人たちは時計の怪物と呼んで怖がりました。

怪物はいつも、きまぐれに現れては、人を殺して喰ってしまいます。

困った王様は腕のいい戦士を集めて怪物のところへ送りましたが、
誰一人として帰ってはきませんでした。

もう、怪物と戦える人はいません。

しかし、困り果てた王様の前に、ひとりの勇気ある少年が名乗りを
上げました。

「おうさま おうさま ぼくにまかせて

ぼくならきつと わるいかいぶつ やっつけてくるよ」

王様はとても喜んで、勇気ある少年に上等な剣を持たせて送り出
しました。

少年は剣を振りかざして、怪物の住処に攻め込みます。

かちこち、かちこち、齒車と秒針の音の中、時計の怪物はにたにた
笑って少年を見ました。

「おれがひとをくうわけ しってるか？」

「しらないよ でも ひとをくうのはいけないよ！」

いち、に、いち、に、少年は剣を振り下ろして、怪物の体を斬りつ
けます。

だけど、いくら斬っても刻んでも、怪物の体はすぐに元通り。

かちこち、かちこち。

時計の怪物は言いました。

「おれのからだは どこにもない

おれのおもいで どこにもない

おれはふじみだ ころせないぞ」

ついに怪物が大きな口をあけて、少年を飲み込もうとしました。

しかし、少年は自ら飛び込んでいって、剣が怪物の左胸を時計ごと貫きました。

かち、こち、かち。

時計は割れて、怪物は悲鳴をあげながら消えてしまいました。

残ったのは壊れた時計だけ。

「ゆうしゃさまばんざい ゆうしゃさまばんざい」

これで安心。怪物のことも忘れて、みんな平和に暮らしました。

めでたし、めでたし。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0452s/>

時計の怪物

2011年10月6日09時58分発行